



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和4年6月第4回市長定例記者会見

- ・日時 令和4年6月28日(火)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 令和4年度一般会計補正予算（第4号）のフレーム（資料1）
- 2 愛郷ぐんまプロジェクト第5弾の延長に伴い
しぶかわ観光応援キャンペーンを延長します（資料2）
- 3 公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン事業をします（資料3）
- 4 アニメ「頭文字（イニシャル）D」を活用したアニメツーリズム推進事業
第3弾を実施します（資料4）
- 5 地域おこし協力隊員2名の活動期間を延長します（資料5）
- 6 犯罪被害者等支援条例の制定に向けた取り組みを開始します（資料6）

その他資料提供

- ・自主避難所（公民館）設営運営訓練を実施します（資料7）
- ・令和4年度第1回渋川市総合教育会議を開催します（資料8）

○次回開催予定

日時：令和4年7月4日(月)午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
6月27日(月)	10:00	令和4年第2回市議会臨時会	議場	議会事務局
	16:00	第67回新規就職者激励大会	プレヴェール渋川	商工振興課
6月28日(火)	9:30	第1回渋川市犯罪被害者等支援施策検討委員会	大会議室	市民協働推進課
	10:00	令和4年第1回渋川市生涯学習推進協議会	第二庁舎202会議室	生涯学習課
6月29日(水)	11:30	広域組合行政不服審査委員辞令交付式	広域組合大会議室	広域組合
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	14:00	広域組合正副管理者会議	広域組合大会議室	広域組合
	18:00	令和4年度第3回日本のまんなか渋川・市長と語る会	庁議室	秘書室
	9:00	令和4年度永年勤続表彰表彰式	大会議室	人事課
	10:00	令和4年度水道週間「小・中学生ポスター・作文コンクール」最終審査	記者会見室	総務経営課
	11:00	渋川フラワーガイドの会ランチ会議	落合梁	市民協働推進課
13:30	第72回社会を明るくする運動渋川地区推進委員会	金島ふれあいセンター	地域包括ケア課	
6月30日(木)	15:00	自主避難所(公民館)設営運営訓練	赤城公民館ホール	危機管理室
	18:00	令和4年度渋川市自衛隊家族会総会	ホワイトパーク	市民協働推進課
7月1日(金)	10:00	令和4年度第1回総合教育会議	第二庁舎201会議室	政策創造課
	14:00	渋川市観光基本計画策定委員会	渋川公民館講堂	観光課
7月2日(土)	9:30	長寿者顕彰	市内	高齢者安心課
	11:30	更生保護の日メッセージ伝達式	大会議室	地域包括ケア課
	14:00	群馬県及び群馬県議会へ要望書の提出	県庁	環境森林課
7月3日(日)	9:00	グッドドライバー・レッスン in 渋川	市民会館	市民協働推進課
7月3日(日)	終了後	TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge in 渋川伊香保 開 会式及びセレモニアルスタート	渋川スカイランドパーク 第4駐車場ほか	スポーツ課
	16:15	頭文字Dラッピングタクシーお披露目式	渋川スカイランドパーク 第1駐車場	観光課
7月4日(月)	16:15	日本土地家屋調査士会連合会関東ブロック協議会第68回定 例総会	ホテル木暮	政策創造課
	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	14:00	第18回政策戦略会議	庁議室	秘書室

資料1

令和4年度 一般会計補正予算（第4号）のフレーム

(千円)

歳 出	歳 入
<p>1 「しづかわ観光応援キャンペーン」の 期間延長 57,174</p> <p>県が実施する「愛郷ぐんまプロジェクト 第5弾」の再延長に合わせ、利用者への「渋 川市ふるさと感謝券」の配布期間を延長</p> <p>・再延長期間 令和4年7月1日～令和4年7月14日</p>	<p>1 県支出金 57,174</p> <p>地域観光事業支援補助金</p>
57,174	57,174

補正前予算額 33,869,071千円



補正後予算額 33,926,245千円

■問い合わせ先

総務部 部長 星野 幸也 (内線2100)

担当：財務課 (電話0279-22-2414)

課長 鴻田 吉史 (内線2150)

財政係長 荒井 啓充 (内線2149)

資料2

愛郷ぐんまプロジェクト第5弾の延長に伴い しぶかわ観光応援キャンペーンを延長します

5月9日から実施している愛郷ぐんまプロジェクト第5弾の期間延長に伴い、愛郷ぐんまプロジェクトの利用者に地域限定クーポンとして「渋川市ふるさと感謝券」を配布する「しぶかわ観光応援キャンペーン」を延長します。

1 趣 旨

渋川市は、県が5月9日から実施している「愛郷ぐんまプロジェクト第5弾」の延長に伴い、地域限定クーポンとして「渋川市ふるさと感謝券」を配布する「しぶかわ観光応援キャンペーン」を延長します。

2 概 要

愛郷ぐんまプロジェクト第5弾を利用して市内の同プロジェクト登録施設に宿泊した人に対し、市内の取扱店舗で利用可能な「渋川市ふるさと感謝券」を地域限定クーポンとして配布します。

※本事業で配布する渋川市ふるさと感謝券は、宿泊費には利用できません。

3 対 象 者

愛郷ぐんまプロジェクト第5弾を利用し、市内の登録施設に宿泊した群馬県民、茨城県民、埼玉県民、千葉県民、新潟県民、山梨県民、神奈川県民、長野県民、栃木県民及び福島県民

4 対象金額及び感謝券配布金額

愛郷ぐんまプロジェクト第5弾を利用し、市内宿泊施設へ宿泊した方に2,000円分のふるさと感謝券を配布

※1施設につき1人当たり3連泊分（合計6,000円分）までを上限とします。

5 延長期間

令和4年7月1日(金)宿泊分～7月14日(木)宿泊分まで

※愛郷ぐんまプロジェクト第5弾の実施期間としますが、新型コロナウイルスの感染状況やG・O・T・Oトラベルの再開により、本事業を中止することがあります。

6 配布方法

対象者が宿泊当日にチェックインした際に、各施設のフロントで配布します。

7 有効期限

令和4年7月15日(金)まで(6月30日までの宿泊者は7月1日まで)

参考

「しぶかわ観光応援キャンペーン」これまでの実施状況

1 愛郷ぐんま第2弾に伴って実施

- (1) 実施期間 令和3年3月26日(金)～4月28日(水)
- (2) 利用実績 3万4,994枚／3,499万4千円
- (3) 実施内容
 - ・群馬県民対象
 - ・当初1,000円分、4月12日から2,000円分を配布
 - ・当初予定は5月31日まで、新型コロナ第4波の到来により事業を中止

2 愛郷ぐんま第3弾に伴って実施

- (1) 実施期間 令和3年11月1日(月)～令和4年1月18日(火)
- (2) 利用実績 17万8,959枚／1億7,895万9千円
- (3) 実施内容
 - ・当初群馬県民対象、令和4年1月4日から隣県に対象を拡大
 - ・1人1泊あたり2,000円分を配布
 - ・当初予定は1月31日まで、新型コロナ第6波の到来により事業を中止

3 愛郷ぐんま第4弾に伴って実施

- (1) 実施期間 令和4年4月1日(金)～4月28日(木)
- (2) 配布実績 7万5,900枚／7,590万円
- (3) 実施内容
 - ・群馬県民、茨城県民、千葉県民、新潟県民、山梨県民＝4月1日宿泊から
 - ・神奈川県民＝4月6日宿泊から
 - ・栃木県民、長野県民＝4月11日宿泊から
 - ・7,001円以上の宿泊費に対し、2,000円分を配布

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭 (内線4899)

担当：観光課 (電話0279-22-2873)

課長 関口 礼二 (内線4880)

観光振興係長 荒木 信彦 (内線4881)

公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン事業を実施します

渋川市は、物価高騰の影響を受ける観光業及び交通事業者を支援するとともに、自家用車を使用しない「エコ旅」を促進するため、県外から鉄道及び高速バスを使って本市を訪れ、市内の宿泊施設に宿泊される方に「渋川市ふるさと感謝券」を配布します。

1 目 的

コロナ対策が日常化し、外出への意欲が高まる中、物価高騰を背景に再度予想される観光需要の冷え込みを下支えし、観光事業者及び交通事業者の経営負担増に対する支援をするため、県外から公共交通機関を利用して市内の宿泊施設に宿泊される方に、渋川市ふるさと感謝券を配布します。これにより、二次交通機関も含めた利用の促進を図り、新たな観光需要を喚起するとともに、普段は、自家用車を利用される旅行者向けに、公共交通機関に切り替えることで、自家用車では味わえない新たな魅力を発見していただき、環境への配慮の意識を高めていただくことを目的に実施します。

2 検討経過

この事業は、公共交通機関利用促進に向けた観光支援策として政策戦略会議で検討を行いました。

5月25日の会議には、関連団体として(一社)渋川伊香保温泉観光協会会長や伊香保温泉旅館協同組合理事長、東日本旅客鉄道(株)高崎支社渋川駅長に参加していただき、事業内容やPR方法等について意見をいただきました。

【主な意見】

- ・伊香保温泉の観光客が公共交通を利用する状況は1割を切る状況。これを回復し、二次交通利用の促進にもなる。
- ・公共交通機関利用促進を図る観光支援策は着眼点が良い。
- ・県外からの利用を対象としていることから宣伝エリアが広がる。周知方法が課題になる。

3 内 容

県外から公共交通機関を利用し、市内の対象宿泊施設に宿泊される方に、渋川市ふるさと感謝券3,000円分を配布します。

ただし、チェックイン時に、公共交通機関を利用したことを証明できるものを提示することとします。

4 事業の特徴

- (1) G o T oキャンペーンや愛郷ぐんまプロジェクト等の国県支援策との併用可能
- (2) 市（企画・財源）、交通事業者（駅同士での連携でのPR）、観光団体（宿泊施設での窓口対応・各ホームページでのPR）が、それぞれの役割を分担・連携して事業を実施
- (3) 観光振興と環境保護のコラボレーション

5 対象者

県外から下記の公共交通機関を利用した宿泊者

- (1) 鉄道
- (2) 高速バス

6 配布方法

宿泊当日チェックインした際に、対象宿泊施設のフロントにて利用した交通機関の証明等を確認し、配布します。

公共交通利用の証明は、乗車券の控え、モバイルスイカ等の利用履歴、チケット購入サイトの申し込み画面等の提示で確認します。

7 実施期間

【第1弾】夏：令和4年9月1日（木）～9月30日（金）

【第2弾】冬：令和5年1月10日（火）～2月22日（水）

8 予算額 5,022万1千円（令和4年度一般会計補正予算第2号で措置済み）

9 その他

県外から公共交通機関を利用して訪れた宿泊者に支援を行う事業を、市町村が実施するのは、全国的に珍しい取り組みになります。

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭（内線4899）

担当：観光課（電話0279-22-2873）

課長 関口 礼二（内線4880）

観光振興係長 荒木 信彦（内線4881）

アニメ「^{イニシャル}頭文字D」を活用したアニメツーリズム推進事業 第3弾を実施します

渋川市の取り組む、アニメ「頭文字D」を活用したアニメツーリズム推進事業の第3弾として、市内タクシー事業者3社のタクシーに「頭文字D」に登場する車両などをイメージしたラッピングを施し、作中の車に乗っているような感覚で市内各地を旅する体験を提供します。

また、市内物産事業者に対し、オリジナルイラストを活用した土産品等の特産品の開発を支援し、観光消費額の向上につなげます。

1 概要

渋川市では、地域特性を活用した観光コンテンツとして、アニメやマンガのファンが作品の舞台となった土地などを訪れるアニメツーリズムの推進に取り組んでいます。

国内外で高い人気を誇る、峠の走り屋の物語「頭文字D」は、渋川市が舞台イメージとして描かれており、これまでも多くのファンが聖地巡礼に訪れています。

今年度は、「頭文字D」とのコラボ企画第3弾として、市内タクシー事業者3社のタクシーに「頭文字D」に登場する車両などをイメージしたラッピングを施し、作中の車に乗っているような感覚で市内各地を旅する体験を提供することで、交流人口の拡大を図ります。

また、観光消費額の増加を目的として、市内物産事業者と協力し、オリジナルイラストを活用した土産品等の特産品を開発します。

2 ラッピングタクシーの運行

- (1) デザイン 別紙のとおり（各社によって異なる3種類）
- (2) 運行期間 令和4年7月3日（日）～令和5年3月31日（金）（予定）
- (3) 協力事業者 日本中央交通（株）、関越交通（株）、群北第一交通（株）
※各社1台ずつ運行
- (4) 乗車特典 乗車特典として、「頭文字D」オリジナルイラストが入った乗車記念カードを配布します（2,000部×3種類）
※乗車記念カードは、1,000円分のご乗車ごとに1枚配布します。
ただし、お一人様1枚までとなります。
- (5) ラッピングタクシーお披露目会
 - ①日 時 令和4年7月3日（日） 午前11時30分から
 - ②場 所 渋川スカイランドパーク遊園地
 - ③来 賓 協力タクシー事業者3社の代表者
 - ④備 考 当日は、スカイランドパークに3台のラッピングタクシーを展示し、「トヨタガズーレーシングラリーチャレンジin渋川伊香保」のセレモニアルスタート後にお披露目会を行います

3 「頭文字D」オリジナルデザインビニール袋の作成

「頭文字D×渋川市」オリジナルイラストを活用した手提げビニール袋（1万枚）を作成し、渋川地区名産品センターでコラボ特産品を買った方へのお買い物袋として利用することで購買意欲の向上を狙うとともに、観光キャンペーンでのパンフレット袋として利用することで配布率の向上を図り、効果的なPRにつなげます。7月下旬からの利用を予定しています。

4 渋川市オリジナルイラストを活用した特産品の開発

渋川地区物産振興協会が実施主体となり、市内物産事業者に対し、「頭文字D×渋川市」オリジナルイラストを活用した土産品等の特産品の開発を支援し、渋川地区名産品センターなどでの販売を通じて、市内における観光消費を活性化させます。

参考

アニメ「頭文字D」を活用したアニメツーリズム推進事業の経過

(1) 第1弾

- | | |
|--------|--|
| ア 実施期間 | 令和2年8月1日(土)～令和3年7月31日(土) |
| イ 実施内容 | ①オリジナルデザインマンホールの設置（継続中）
②マンホール巡りデジタルスタンプラリー
③ラッピングバス運行（2台） |

(2) 第2弾

- | | |
|--------|--|
| ア 実施期間 | 令和3年7月3日(土)～令和4年3月31日(木) |
| イ 実施内容 | ①観光スポット巡りデジタルスタンプラリー
②フルラッピングバス運行（2台） |

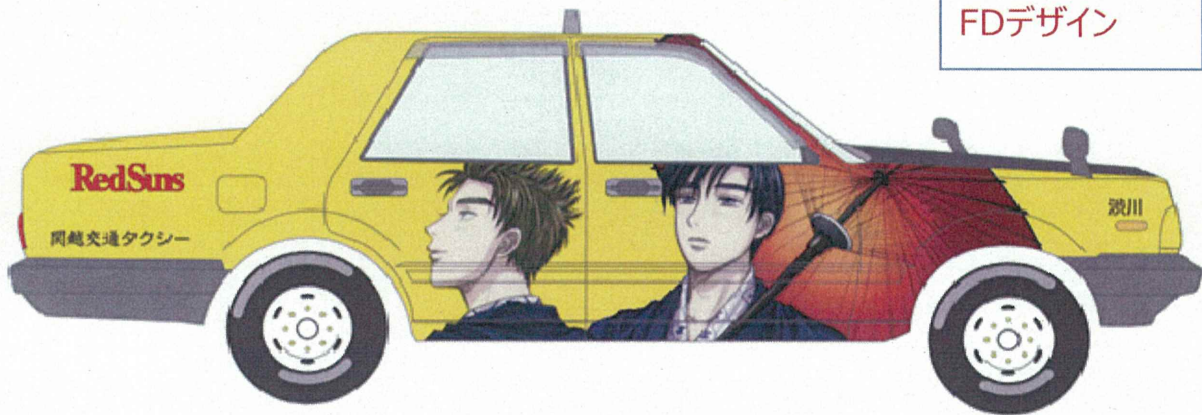
■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭（内線4899）
担当：観光課（電話0279-22-2873）
課長 関口 礼二（内線4880）
観光振興係長 荒木 信彦（内線4881）

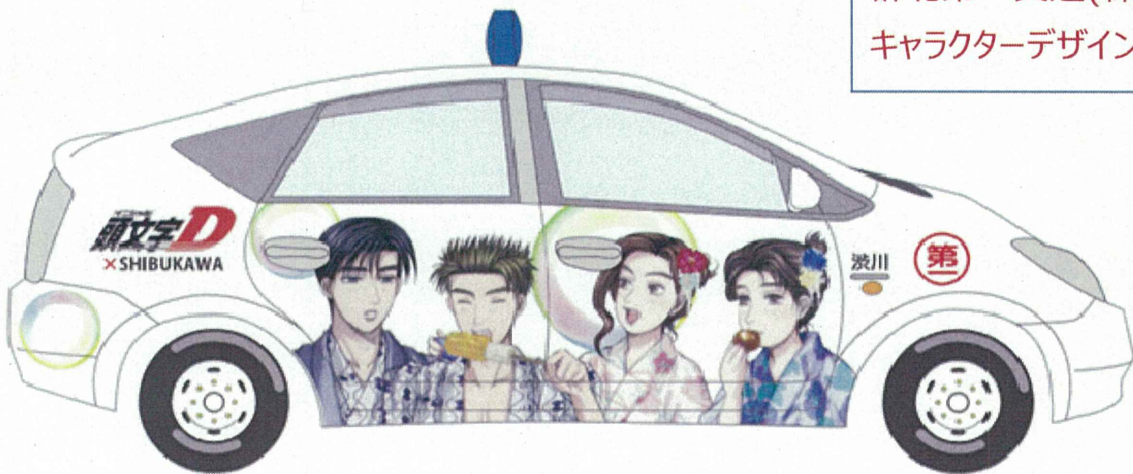
日本中央交通(株)
ハチロクデザイン



関越交通(株)
FDデザイン



群北第一交通(株)
キャラクターデザイン



地域おこし協力隊員 2名の活動期間を延長します

新型コロナウイルス感染症により活動に大きな制約を受け、任期中に十分な活動ができていない地域おこし協力隊員の任期終了後の円滑な起業を支援するため、活動期間を延長します。

1 概要

地域おこし協力隊が地域協力活動を行う期間は、総務省の地域おこし協力隊推進要綱において、概ね1年以上3年以下とされてきました。この期間について、新型コロナウイルス感染症の影響により十分な活動を行えなかった隊員（令和元年度から3年度までに任用された者に限る）は、3年を超えて地域協力活動を行うことを希望する場合、活動期間を2年を上限に、最長5年まで延長することができるよう要綱の改正が行われました。これを受けて、現在市内で活動し、今年度で活動期間が満了する隊員2名から活動期間を延長する希望があったことから、期間の延長をするものです。

2 活動期間を延長する隊員

(1) 大野 雄哉（昭和61年10月29日生・35歳・東京都板橋区出身）

- ・受入経緯 渋川市を代表する伝統工芸品である創作こけし産業は、作家の高齢化と後継者不足の解消を目的に後継者を育成するため、地域おこし協力隊制度を活用し、平成31年度から創作こけし産業の継続を支援するための新たな事業として「地場産業後継者育成支援事業」を創設し、地域おこし協力隊の受け入れを行ったもの
- ・任期 当初：令和元年9月2日～令和4年9月1日
延長後：令和5年3月31日まで
- ・受入所管 産業観光部商工振興課

【活動内容】

- ・創作こけし製作に係る技術及び知識の習得
- ・創作こけし産業関係者との交流及び連携、地域行事等への参加
- ・インターネットを活用した創作こけしの魅力発信など

【活動実績】

- ・第61回（令和3年実施）全群馬近代こけしコンクールで群馬県知事賞を受賞
- ・JR上野駅（群馬産直市）創作こけしのPR活動（絵付体験・販売等）
- ・第62回（令和4年実施）全群馬近代こけしコンクールで関東経済産業局長賞を受賞
- ・第64回全日本こけしコンクールで白石温麵賞を受賞
- ・渋川こけし人形会と共に「しぶかわ創作こけし展～しぶかわ普通じゃないこけし展～」を開催（令和4年6月16日～24日）

(2) 長沼 未希 (平成9年9月15日生・24歳・山梨県都留市出身)

- ・受入経緯 渋川広域圏の物産及び観光の振興を一層図るとともに、新たな地域の観光資源の発掘と活用方法の提案や観光情報の発信強化を目的に、渋川地区物産振興協会が地域おこし協力隊の受け入れを行ったもの
- ・任 期 当 初：令和元年8月1日～令和4年7月31日
延長後：令和5年3月31日まで
- ・受入所管 産業観光部観光課

【活動内容】

- ・SNS等による渋川地域の観光情報及び魅力の発信
- ・各種地域の行事や地域おこしイベントへの参加、協力
- ・渋川地域の特産品や観光資源の発掘とその活用方法の提案
- ・渋川北群馬DMOの活動支援

【活動実績】

- ・SNSを通じた観光スポットの紹介や観光情報の発信 (ツイッターフォロワー数1,424人：令和4年6月20日時点)
- ・YouTubeチャンネルの開設
- ・NHK前橋放送局「ほっとぐんま630」等のメディア出演
- ・JR敷島駅100周年記念イベントへの協力
- ・渋川行政県税事務所主催イベントへの協力

3 その他

活動期間延長に伴う費用 (339万9千円) は、令和4年度一般会計補正予算第3号で措置済みです。

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭 (内線4899)

担当：商工振興課 (電話0279-22-2596)

課長 山田 量俊 (内線4890)

まちなか再生・産業振興係長 山賀 真奈美 (内線4895)

担当：観光課 (電話0279-22-2873)

課長 関口 礼二 (内線4880)

観光振興係長 荒木 信彦 (内線4881)

犯罪被害者等支援条例の制定に向けた取り組みを開始します

渋川市は、犯罪被害者とその家族の心身をサポートし、市民や市内事業者が犯罪被害者等の理解を深めるために、犯罪被害者等支援施策の検討を開始します。

1 目 的

犯罪被害者等支援は、国が支援を初めて開始したのが昭和55年であり、約40年と歴史が浅く、県、民間支援団体で支援を行うことで支援の輪は広がってきているものの、まだ十分ではありません。また、SNSの普及によって、犯罪被害者やその家族又は遺族が誹謗中傷等の二次被害に遭う等の課題が顕著となっていることから、よりきめ細かい支援が求められています。

犯罪は、いつどこで起こるか誰も分からないため、市民一人一人が犯罪被害者等が苦しんでいることを理解し、万が一、犯罪が発生した時には、適切に対応することが重要です。そこで、渋川市は、「共生社会実現のまち」への取り組みの一環として、令和5年度からの犯罪被害者等支援に係る条例の施行や支援施策の実施を目指し、検討を開始することとしました。

2 検討の方法

外部有識者及び職員で組織する「渋川市犯罪被害者等支援施策検討委員会」を設置し、犯罪被害者等支援に係る条例及び支援について検討を進め、条例案及び施策案を決定します。「犯罪被害者等が必要とする施策」の実現を目指し、検討を重ねていきます。

3 外部有識者の構成（予定）

- ・ 社会福祉教育関係者
- ・ 人権擁護委員
- ・ 警察署
- ・ 自治会連合会
- ・ 青少年育成推進員連絡協議会

4 条例施行、事業開始までの予定

- ・ 令和4年6月28日 第1回委員会
- ・ 令和4年7月 第2回委員会
- ・ 令和4年8月 第3回委員会
- ・ 令和4年12月 市民意見公募
- ・ " 市議会総務常任委員会 条例案の協議
- ・ 令和5年1月 第4回委員会
- ・ 令和5年3月 市議会定例会 条例案の上程
- ・ 令和5年4月 条例施行、事業開始

5 その他

県内では、前橋市、安中市及び大泉町で条例が制定されており、県内4例目です。外部有識者による検討委員会の検討を踏まえた犯罪被害者等支援に係る条例の制定は県内初です。

■問い合わせ先

市民環境部 部長 萩原 義人（内線1100）

担当：市民協働推進課（電話0279-22-2463）

安全安心係長 武井 香代（内線1143）

自主避難所（公民館）設営運営訓練を実施します

渋川市では、災害の発生時又は発生の見込みがある時に、自主避難所を開放します。その際、自主避難所が設置される公民館では、市職員が避難所の運営に携わることから、コロナ禍での自主避難所運営について学び、職員が非常時の対応力を身につけるための訓練を実施します。

1 目 的

災害の発生又は災害が発生する恐れのある場合、渋川市では自主避難所の開放を行います。その際、市職員が施設の解錠、避難者の受付及び対応等、自主避難所の運営に携わるため、平常時から実災害に備えた訓練を行い、対応力を身につけることを目的とした訓練を実施します。

2 訓練概要

この訓練では、座学と実働訓練の二部構成で行い、新型コロナウイルス感染症に対応した自主避難所運営に係る事項を学びます。

3 日 時 令和4年6月29日(水) 午後3時～午後5時

4 会 場 赤城公民館（渋川市赤城町敷島568-1）

5 対 象 者

- ・初動マニュアル（風水害）による自主避難所担当者
 - ・公民館長及び職員
 - ・その他4月着任者又は未経験者
- ※上記以外の者も希望者は可とします

6 主 催 地域の命を守る体制づくり委員会（避難所部会）

■問い合わせ先

危機管理監 真下 彰文（内線2105）

担当：危機管理室（電話0279-22-2130）

室長 中山 久子（内線2180）

危機管理係長 藤井 隆（内線2187）

資料8

令和4年度第1回渋川市総合教育会議を開催します

市と教育委員会の相互の連携を図り、より一層の民意を反映した教育行政を推進するため、6月30日(木)に渋川市総合教育会議を開催します。

1 目 的

渋川市では、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層の民意を反映した教育行政を推進するため、「渋川市総合教育会議」を設置しています。

2 日 時 令和4年6月30日(木) 午前10時から

3 場 所 渋川市役所第二庁舎 201会議室

4 内 容

- (1) 渋川市教育振興大綱策定方針(案)について
- (2) コミュニティ・スクールについて
- (3) 小中一貫教育について

5 出席予定者

市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員

【関係職員】

市長戦略部長、総務部長、総合政策部長、財務課長

教育部長、教育総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、中央公民館長

6 事務局 総合政策部政策創造課 企画戦略・共生社会推進係

7 その他

- (1) 会議は原則公開で行います
- (2) 傍聴希望者は、6月29日(水)までに政策創造課(0279-22-1880)へご連絡ください
- (3) コロナ警戒レベルにより、傍聴人数等に制限を設ける場合があります。

参考

1 総合教育会議とは

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成26年法律第76号)が改正(平成27年4月1日施行)されました。

この法律の中で、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化を目的とした「総合教育会議」を設けることと規定されています。

2 過去の開催状況

年 度	回 数	議 題
令和元年度	第1回 (4月)	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度予算について ・新年度組織機構の見直しについて ・公立幼稚園・保育所の認定こども園化について ・小規模特認校について
	第2回 (10月)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度決算概要報告 ・ふるさと渋川学生奨励金制度(案)について ・コミュニティスクールについて
令和2年度	—	—
令和3年度	第1回 (8月)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールについて ・今後の国際理解教育のあり方について ・ヤングケアラーについて

■問い合わせ先

総合政策部 部長 田中 良 (内線2400)

担当：総合政策部政策創造課 (電話0279-22-1880)

課長 佐藤 多恵子 (内線2420)

企画戦略・共生社会推進係長 坂本 和馬 (内線2122)